

Cyberspeaker-W (V655SK) 導入事例 北谷町役場 様



北谷町は地域イントラネット基盤施設整備事業によって整備された光ファイバネットワークにより、町役場をはじめとして町内59カ所がネットワーク化されている。そのネットワークを生かすアプリケーションとして2006年夏に住民サービスを行う町内施設のうち事務連絡の必要度が高い出先機関を中心に Skype が導入された。

Skype を全国の自治体の中で先駆けて導入することに不安はなかったのだろうか。

その疑問には「高機能なIP電話の場合は導入テストをするにしても、機材の導入やコンサルなどの面が負担になってくるが、Skype はコストや手間もそれ程かからず簡単に導入できる。段階的に導入しつつ検討を重ねることが容易であり、失敗しづらいと判断できた。(情報政策課多和田課長)」の答えが返ってきた。

Skype を業務使用で導入する際に求められる通信管理や機能制限などセキュリティーの確保には、ゼッタテクノロジー社の「オフィスデ for Skype」を導入することで解決できた。



北谷町役場 情報政策課

伊波係長 多和田課長 豊里氏 (左から)

もうひとつ Skype の導入をする際に注意した点は“必ずしもPCを使い慣れた人ばかりが使うわけではない”ということ。誰でも簡単に使いこなせるようにする必要があった。「それにはマウスを片手で操作しながら使用するヘッドセットタイプやイヤホンタイプよりも、受話器を上げ下げすることで通話・終話ができる電話機タイプの方が適していた。(伊波係長)」

幾つかの電話機タイプの機器をテストする中で、

- ・ 軽いプラスチック製のものでは音が中で反響してしまう
- ・ 受話器だけで操作が完結しないものがある
- ・ハウリングを起こしたり、音が割れて聞こえるものがある
- ・ 軽すぎるものはかえって使い難い

ということが分かり、比較検討した結果「Cyberspeaker-W」が採用となった。



「Cyberspeaker-W」採用の理由は

- ・ 質感がしっかりしており、軽過ぎず重過ぎず丁度良い重量である
- ・ 受話器の上げ下げに連動して Skype が動作し、受話器ボタンで操作が完結する
- ・ 比較検討した中で一番音質がクリアで良かった
- ・ スピーカーフォンとしてハンズフリーで使用することもできる

ということで、現状の感想は「非常に満足している（豊里氏）」とのことだった。

北谷町では今後、引き続き Skype の導入数を増やしていく予定で、更には Skype のビデオ機能も生かし、コミュニケーションツールとして Skype をフルに活用していくとのことだった。

Skype が業務の円滑化や住民サービスの向上に活用され得るものとなった非常に良い事例であると言えるだろう。今後とも北谷町のような事例が増えることを期待したい。

<本件に関するお問合せ>

株式会社ネットブルー

<http://www.netblue.co.jp/>

TEL 03-3586-1133(平日 9:00~18:00)

E-mail: netsales@netblue.co.jp

ネットブルーストア事業部 河合まで